ふれ愛

第10号

平成26年3月17日発行
かほく市
少年愛護センター
☎283-7137

あいさつ運動に参加して思う事

かほく市少年愛護員
村梶　綾子

「お早ようございます」「おはようございます」元気な声、さわやかな笑顔、ちょっぴりはにかみながらの声が飛びかう、宇ノ気小学校の校門前。そこには地域の方はもちろん通学中の小中学生の明るい元気な声にも頼もしさが感じられます。私は子ども達の安全を守り朝のあいさつ運動に参加し、このような子ども達から毎回元気をもらっています。今日の少子化、いじめ、不登校、虐待、青少年の犯罪や事故等で尊い命が奪われるなどのさまざまな問題が山積している中、登校児の元気な挨拶や「お疲れ様」「ありがとう」などの感謝の言葉を聞くと我がまちの行く末は大丈夫だという気持ちになります。

宇ノ気ＰＴＡ行動宣言のひとつに、子どもは「地域の宝」として育てよう、が定められています。本当に宝として育てるには我々大人が今一度再認識をし、誰もが安心して住み続ける事ができるまちを創りあげていかなければなりません。その為に「はじめの一歩」として、誰もが挨拶をし、あちこちから笑い声が聞こえる、そんな挨拶があふれる楽しい町にしていきたいです。その中で子ども達に声をかけ、認め、時には注意する事でどの子も我が子と思い、地域の宝だと感じられるのではないでしょうか。このような事を思うと、この子らが今日一日何事もなく楽しく過ごす事ができるよう祈らずにはいられません。

今後も地域の一員として、地道に関係機関と連絡を取り合いながら子ども達を温かく見守り育くんでいきたいです。

子どもは「地域の宝」、をスローガンに！

「わくわくのおじいさん」として、その役割を

かほく市少年愛護員
竹中　伸治

トントン（ドアをノックする音）「ハイ、どうぞ」「失礼します。わくわくのおじさんが、どうして校長先生になれるのですか？？？」

平成二十一年四月、教職員の人事異動で七塚小学校から高松小学校に赴任して間もない日のことでした。五年生女子児童が、校長室を訪れた時のこの言葉を今でも鮮明に憶えています。

私は、学校が完全週五日制となる移行期にあった平成七年十月から、思いを同じくする仲間と共に「高松小第四土曜わくわく教室」を主宰しています。高松小学校区に住む一人のおじさんとして、第四土曜日の午前中、スポーツ少年団等で活動していない三年生以上の子どもを対象に、子どもたちがわくわくしそうな居場所づくりの世話をしています。教室を始めた頃は、我が子を含め、五、六人でしたが、近年は四十人前後の児童が参加しています。

活動内容は、「ビーチボール」、校区内の歴史・文化にふれ、郡市の少年補導員の皆さんのお世話になりながら『１１０番の家』に立ち寄る「ウォークラリー」、大海川漁協の『鮎つり名人』に教えていただく「鮎つり」、「サイクリング」、「グラウンド・ゴルフ」、校区内に住む『鳥博士』中川先生と河北潟周辺での「バードウォッチング」、「凧づくりと凧揚げ」、市の食生活改善推進員の皆さんの「クッキング教室」などです。そして、夏休みには少年自然の家での一泊二日の「宿泊体験学習」も実施しています。このように、地域の自然・文化や歴史にふれたり、ニュースポーツ、クッキングなどいろいろな領域・種目にふれる機会を創っています。また、世話をしているスタッフの年齢構成も幅広く、それぞれの年代で役割を分担しあっています。看護大学生やその卒業生、二十代から五十代の教員や市役所の男女職員、最高齢者は、六十歳を過ぎた私です。

「言っていなかったけれど、実は、わくわくのおじさんの職業は、学校の先生だったんだよ。だから、校長先生に・・・。」（冒頭の女子児童に）

今後、「わくわくのおじいさん」といわれるようになっても、子どもたちの笑顔を糧に、じいさんなりに居場所づくりの役割を担いたいと思っています。

かほく市少年愛護センターのご紹介

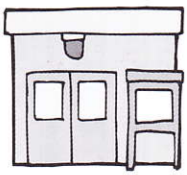
【組織】

かほく市少年愛護センター

- 所長（教育長兼務）
  少年愛護指導員
- 運営委員会
- 少年愛護員
  - 高松中学校区（20名）
  - 河北台中学校区（20名）
  - 宇ノ気中学校区（20名）

交番・駐在所

高松交番	282-5212
木津駐在所	285-0101
外日角駐在所	283-0158
宇野気交番	283-0129
横山駐在所	285-0126



青少年健全育成に関する標語入選作品

河北郡市少年補導センター連絡協議会で、青少年健全育成啓発事業として標語の募集をしたところ、かほく市内の小中学校より1,672作品（小学校728作品、中学校944作品）という多数の応募がありました。上位５作品については、青少年健全育成のための標語として立看板で要所に掲出いたします。

入選作品については、以下のとおりです。

最優秀賞

やめようよ　いじめ　いたずら　みないふり
河北台中学校　二年　高岡　玲央

優秀賞

支えてあげよう　相手の気持ち　支えてもらおう　自分の心
河北台中学校　二年　虎谷　果奈

あいさつは　心と心を　つなぐ糸
宇ノ気中学校　二年　山田　千桜

「ありがとう」　笑顔があふれる　愛言葉
河北台中学校　三年　油野　真緒

踏み出して　何かが変わる　その一歩
河北台中学校　三年　小川紗矢花

佳作

「おはよう」と　笑顔の2つで　友達に
河北台中学校　三年　板井　春菜

また一つ　笑顔を増やそう　あいさつで
河北台中学校　二年　中嶋　理子

あたりまえ　だけど忘れず　ありがとう
河北台中学校　三年　大澤　七海

ひとりじゃない　仲間がいるから　がんばれる
宇ノ気小学校　五年　岡井　優菜

あいさつで　広がる夢と　きずなの輪
宇ノ気小学校　五年　宮野　来弥

いじめても　傷つくものは　ｍｙ　ｈｅａｒｔ（マイハート）
河北台中学校　二年　平井　綾

思いやり　信らい貯金　たまってく
宇ノ気小学校　六年　河村　真啓

ケータイは　選択しだいで　危険な物
高松中学校　三年　澤　幸志

津幡警察署長賞

いいのかな　今の自分を　見てみよう
宇ノ気中学校　三年　冨澤　美緒

愛護指導巡回

少年愛護指導員（常勤補導員）が学校の下校時間帯を主に巡回指導にあたっています。不審者からの声かけや連れ去りなど、子ども達が被害に遭わないよう気を配りながら巡回しています。併せて、車道への飛び出し、自転車の並列や二人乗りなどないよう交通安全指導にも気を配っています。

また、大型店や施設などを巡視し、非行を未然に防ぐために声かけなどの活動を行っています。時には河北郡市内の常勤補導員・津幡署補導員と連携して活動しています。

定例指導巡回

各中学校区において委嘱された各20名の少年愛護員をA・B・C・Dの４班に編成し、ローテーションで年間16回実施しています。

○巡回時間　各中学校区　共通
4月～11月及び3月　19：30 ～ 21：00
12月 ～ 2月　19：30 ～ 20：30

○巡回場所　学校周辺、商業施設、駅舎、カラオケ店、書店、遊技場、公園、有害図書等自販機、コンビニ等

特別指導巡回

サマーフェスタ in かほく開催時、キャッツフェスタ会場周辺で特別指導巡回を実施しています。

○巡回時間　第１隊　18：30 ～ 20：30
第２隊　20：30 ～ 22：30

〈特別指導巡回出発前のようす〉

青少年健全育成看板

かほく市少年愛護センターとして現在、公民館、公園、駅舎等公共施設に啓発看板を設置しております。

今年度は、前年度の青少年健全育成に関する標語の優秀な作品を次のとおり設置しました。

① 七塚中央公園東口　「あいさつは　心を通わす　第一歩」
② JR高松駅トイレ付近　「あいさつは　心を通わす　第一歩」
③ ＪＲ横山駅西口　「いじめなし　手と手をとり合い　助け愛」
④ 内日角公民館駐車場　「一回だけ　そんな甘さは　何回目？」
⑤ 金津児童館　「『ありがとう』笑顔の花が　咲きほこる」
⑥ 大海小学校付近道路　「おはようの　声がとびかう　通学路」

〈青少年健全育成看板〉

少年愛護センターから

●外で遊ぶ子どもの姿が少なくなった

巡回車でかほく市内を巡視していますが、昔と比べると外で遊んでいる子どもが目立って少なくなったと感じます。下校時や電車が到着した時には帰宅する姿を見かけますが、その時間帯を過ぎると、ひっそりとしてしまい、子どもたちの元気な遊び声をあまり聞かなくなってしまいました。少子化といわれて久しいですが、そのせいばかりではないようです。外遊びの減少の主な原因は、家の外から中へと子どもの生活や遊びが変化したためと思われます。情報通信技術の発展によりパソコンや携帯電話、ゲーム機器などが広く普及し、大人から子どもまで「遊び」の形態が大きく変化しました。また、塾、スポーツ教室などの習い事に通う児童も増えました。河北郡市少年補導センター連絡協議会のメンバーとの話し合いの中でも、河北郡市の中を歩く子や遊んでいる子が目立って少なくなってきたという話題が時々出ます。

外遊びが少なくなると、体力・運動能力の減退、人間同志のコミュニケーションが少なくなり人間関係が狭まるなどの弊害が考えられます。外で元気に遊びまわる姿を見たいものです。

●自転車のヘルメット

市内を巡視していますと、子ども達がヘルメットをかぶって自転車を運転している姿が目に入ってきます。13歳未満の子どもが自転車に乗る時、ヘルメットを着用することとなってから久しくなり、定着してきたように思えます。ヘルメットを着用することによって気持ちが引き締まり、一旦停止や左側通行などの運転マナーが向上しているように思います。保護者の方々のご協力を今後ともお願い致します。

●タバコのポイ捨て

JR駅付近の駐輪場にタバコのポイ捨てが見られます。未成年者の喫煙は、タバコへの依存度が強く現れるとともに、身体への様々な悪影響を及ぼします。また、ポイ捨ては非常に迷惑な行為です。みなさんで声をかけあい、未成年者の喫煙やポイ捨てを根絶しましょう。

平成25年度　少年被害者支援分科会　開催

１２月３日（火）に石川県警察本部の大会議室で、いじめ問題をテーマとした市町少年補導関係者の合同研修会が開かれました。昨今、いじめが大きな問題となっています。いじめにどう対処するか、かほく市の少年愛護センターも大いに関心を持っているところなので、興味を持って参加しました。

いじめ問題に取り組むＮＰＯ法人ジェントルハートプロジェクトの理事の小森美登里氏による、「やさしい心が一番大切だよ」という講演でした。講師の小森氏は、いじめがもとで命を絶った娘さんの母で、現在はいじめ問題に取り組むＮＰＯ法人を主宰し、各地の学校等で講演を行っている方です。悲しい出来事が二度と起こらないようにと、直接子どもたちに語りかけています。

小森さん夫婦の一人娘であったお子さんが自ら命を絶ったのは平成１０年７月。高校に入って３ヶ月半の時でした。明るく元気で、小・中学校でも友達が多く、クラスのムードメーカー的存在でした。夢は音楽関係の仕事をすること、そして、サイパンで結婚式を挙げることでした。

お子さんがその高校に入学したのは、あこがれていた吹奏楽部に入るためでした。入部し、本当にうれしそうでした。しかし、だんだんお子さんの様子がおかしくなってきました。しゃべらない。食べない。学校に行きたがらない。その原因が部活動内の人間関係にあることに気付きました。いじめを受けていたのです。美登里さんは学校に何度も相談し、またお子さんを青少年相談センターのカウンセリングやメンタルクリニックにも連れていきましたが、ついに、ある日、自宅トイレで自ら命を絶ってしまいました。

わが子の死という現実の中で、来る日も来る日も美登里さんは自分を責め続けました。毎年何人もの子どもたちが自ら命を絶っています。美登里さんは「私はいっぱい失敗したが、我が子の死を無駄にしたくない」という思いで、ＮＰＯ法人を立ち上げ全国の学校で講演やパネル展示をするようになりました。これまで回った学校の子どもたちの感想文は数万枚になり、「優しい心が一番大切・・」「いじめられる子は悪くない、と聞いて少し元気なりました」など子どもたちの心の揺れや気持ちが表れていました。このようなつらい思い出を語りかける姿に心を打たれました。

LINE（ライン）を知っていますか

ＬＩＮＥ（ライン）とは、無料で音声通話やメール送信ができるアプリで、主にスマートフォンで使われています。お金がかからない（通信無制限等を選択していない場合、パケット料はかかります）ことから、青少年には不可欠なコミュニケーションツールとなっており、現在、世界規模で利用者が増加しています。

しかし、ＬＩＮＥは、児童ポルノや児童買春などの性的犯罪の誘い出しに利用されたり、書き込みがきっかけとなるいじめ等様々な危険が潜んでいます。

正しい知識と思いやりをもって、上手に利用しましょう。

青少年利用者のトラブル事例

「見ず知らずの人と友だちになってしまったことによるトラブル」

- 見ず知らずの人と連絡を取ってしまい、実際に出会うことで事件や事故などのトラブルに巻き込まれる
- 個人情報を教えてしまったことによって、自宅に押しかけられたり、いたずら電話がきたり、個人情報を握られてお金を要求される

「学校の友だちなど知り合い同士のグループ内でのいじめトラブル」

- 複数人で一斉にトークをすることができる場所（グループトーク）で、悪口などの誹謗中傷の対象となる
- グループトークから退会させられ、仲間はずれにされる
- トークやタイムラインに顔写真や他人に知られたくないことを掲載されてさらし者にされる

「迷惑メール業者トラブル」

- 迷惑メール業者から送られてくるメッセージに従って会員登録などをしてしまうことによる架空請求
- 会員登録や個人情報の返信などをしたことで、LINEやその他一般のメールに迷惑メールが多く送信されるようになる

青少年がトラブルに巻き込まれないために

まずは、大人自身が使い方やネットマナーに関する知識を得ることが肝心です。その上で、ご家庭や学校などそれぞれの場所で、考え方や使い方について話し合って下さい。

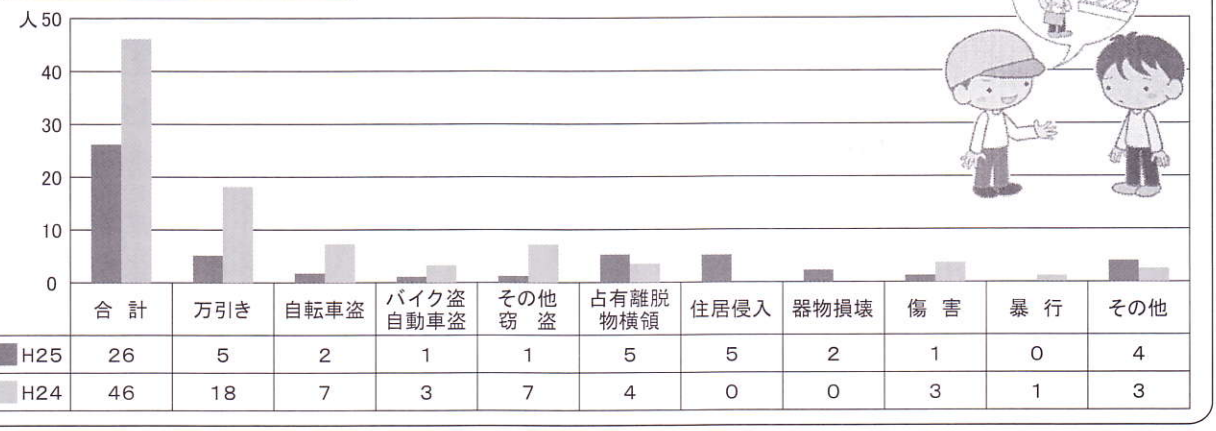
<考え方>
- 知識や人生経験が少ない青少年を狙っている危険な人がいることを理解してもらう
- 親をはじめ周りの大切な人たちが悲しむようなことはして欲しくないと伝える
- 少しでも後ろめたい気持ちがあるような事は、しない方が良いと伝える
- ネットマナーとその重要性について説明する

<使い方>
- 新規登録や設定を一緒に行いながら使い方を教える
- 知り合いや友だちとのコミュニケーションに限定して利用するように伝える
- 迷惑メールは無視するように伝える
- メッセージに「既読」がついているのに返事が来ない場合でも、相手の事情を考えて返事の催促などはせず思いやりをもつことが大切であると伝える

津幡警察署管内の少年非行状況
（平成25年）

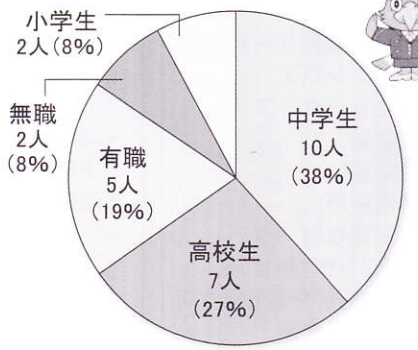
刑法犯少年
…窃盗や占有離脱物横領など、刑法に触れる行為をした犯罪少年及び触法少年

罪種別に前年と比較

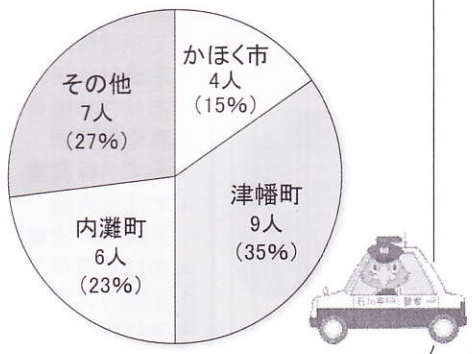


	合　計	万引き	自転車盗	バイク盗 自動車盗	その他 窃　盗	占有離脱 物横領	住居侵入	器物損壊	傷　害	暴　行	その他
H25	26	5	2	1	1	5	5	2	1	0	4
H24	46	18	7	3	7	4	0	0	3	1	3

学職別

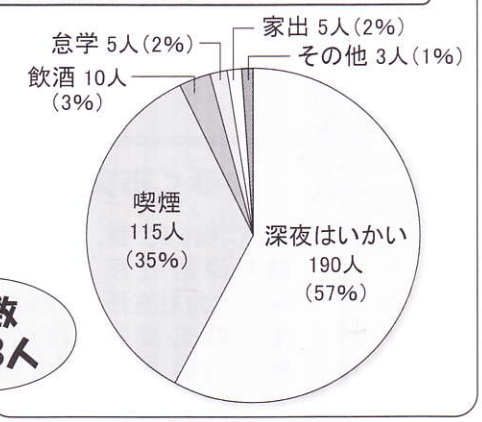


住居地別



不良行為少年
…深夜はいかい・喫煙など、犯罪には該当しないが、自己又は他人の徳性を害する行為をした少年

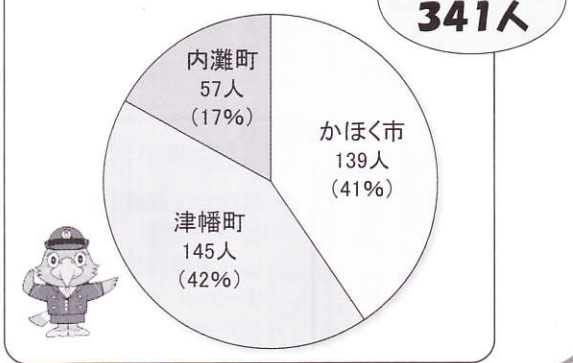
行為別補導人員（津幡警察署管内）



総数 328人

居住地別補導人員
（他署管内での補導人員も含む）

総数 341人



津幡警察署　289−0110　～「一度だけ」軽い気持ちが悪を呼ぶ～

こども110番の家

「子ども１１０番の家」は、危険を感じて助けを求めてきた子どもを
一時的に保護し、警察等に通報していただく「子どもを守る家」です。

【高松小学校】

・森常染工
・さくらや
・おしゃれの店ゆり
・ヤマザキデイリーストア かほく高松店
・桑の実亭
・みくに接骨院
・フタクチ電設工業㈱
・かすけストア
・学園台保育園
・カナヤ商事
・コンビニエンス　アイトユ
・金谷理容店
・しげる理容店
・竹新理容店
・理容ヤマモリ
・岡田理容
・ヘアースポット　サカイ
・理容タケウチ
・理容美容ほがらか
・理容さとう
・あさの理容店
・ウィッシュ・ベリー・ハーツ
・おしゃれサロンきざわ
・JA石川かほく高松支店
・高松保育園
・愛・遊・館
・高松サービスセンター
・かない接骨院
・竹田接骨院
・河北郡衛生㈱
・白江自動車整備㈱
・脇坂接骨院
・K-CLUB（美容院）
・山本誠次　宅
・洋菓子ハッピー
・㈲コウリン商店

【大海小学校】

・本乗寺
・大海交流センター
・古林食料品店

【宇ノ気小学校】

・しづ美容室
・かほく市消防本部
・理容さぶさ
・すみれや　ヤングドライ
・簑嶋製紐
・ビューティーサロン　久美
・山口自転車店
・ビューティーサロン　おかもと
・山田和弘　宅
・アースヘアほがらか
・水口理容店
・理容コウチ
・カットショップイマムラ
・ヘアースタジオ杉村
・理容エナジー
・のと共栄信用金庫宇ノ気支店
・JA石川かほく宇ノ気支店
・北川接骨院
・てが接骨院
・宗藤針灸接骨院
・ありさわ接骨院
・新化保育園
・みずべ保育園
・七窪保育園
・至誠が丘児童館
・かほく市役所
・伊藤ガス設備㈱
・整体和屋（なごみや）
・㈱サンエキ
・㈲沢田電興社
・工一自動車㈱
・サークルK　かほく七窪店
・長山干城　宅
・森田雅彦　宅
・ウインドベーカリーブール
・㈲村田電気工事

【七塚小学校】

・トランスポートシステム
・ファッションすぎもと
・木津郵便局
・㈱精研工業
・㈱杉本自動車サービス
・㈱アイシン鉄工
・㈱河北モータース
・浅野商店
・理容気谷
・寺嶋理容所
・とらや理容店
・ヘアープラザ　かせの
・のと共栄信用金庫七塚支店
・はまなす保育園
・宇野接骨院
・理容店ビースカット
・七塚中央公園管理センター
・フラワーショップオオキ
・ベニマガサン
・チェンジA

【外日角小学校】

・金子商店
・セピア＆さか野
・㈲高与タイヤ商会
・マルニ石油　七塚給油所
・㈲西田自動車整備工場
・河内家具店
・西田　勝男　宅
・助六理容所
・理容ほがらか
・理容室マルサン
・能任理容店
・ヘアーサロンひげもと
・ローソンかほく秋浜店
・猿女接骨院
・別宗整骨院
・高井接骨院
・中島接骨院
・西田接骨院
・かほくケアセンター
・ひまわり保育園
・しらゆり保育園
・海青クラブ
・ドコモショップかほく店
・サンクス白尾インター店
・㈱白尾自動車サービス
・読売センターかほく
・㈱表組
・霹香重機建設㈱
・㈱大野産業
・セブンイレブンかほく白尾店
・谷たばこ店
・㈱内潟自動車整備工場